

1. 有料老人ホームの経営について

令和 6 年度のフロイデンハイムは、新たな入居契約は 11 組 16 人様、残念ながら途中解約退居（3 年）1 名様、死亡退居 6 名様（ロイヤルケア 3 名様）でした。ロイヤルケアにはフロイデンハイムから 1 名様移動、新たに 1 名様入居され残り 1 室となっています。すでに令和 7 年 8 月以降入居の予約 1 名様あり、新年度も積極的に広報し、見学、体験入居をお勧めし、新規利用者様を増やせるように努めます。

入居者の方には年 2 回の運営懇談会を開き、アンケート調査をし、ご希望を伺っています。別に修理など工事は細やかに日程などをご説明、掲示します。入居者様のご不満や悩みを理解するように生活相談会を月 1 回開くだけでなく、新たに相談室を設け、相談員やケアマネージャーが常駐し、入居者様のご希望にいち早くお答えできる体制を取ります、映画鑑賞、お花見、書道、カラオケ、マージャンクラブ、オセロなど、ホームの生活を楽しんでいただき、サービスの向上に努めます。

2. 社会貢献事業および社会福祉充実計画について

平成 29 年より、それ以前の「大阪しあわせネットワーク」（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）だけでなく、法人独自の社会貢献事業「みんなの食堂イン福生会」（毎日型と子ども食堂）、ぬくもりカフェ（認知症予防）をしてきました。コロナ禍令和 2 年 4 月～6 年 2 月まではお休みし食材配布していましたが、令和 6 年 3 月から復活しました。12 月からは政府備蓄米 450 kg を農林省から頂き配布しました。令和 7 年度は 600 kg 月 1 回配布する予定です。子ども家庭に大変喜んで頂いています。

毎日型「みんなの食堂」は地域福祉、生活援護課から紹介され、よく利用されます。「ぬくもりカフェ」からもご利用につながるケースあり好評です。

また職員処遇改善の充実として、令和 7 年度は介護職員処遇改善支援補助金の一本化だけでなく、資格取得応援に介護支援専門員の研修も加えます。

社会福祉充実計画の 4 年目である令和 7 年度は、有料老人ホームフロイデンハイムの改修事業を計画しています。大阪府中小企業 LED 照明補助金を活用し実施したが、外壁など一部落下事故もあり修復していますので大規模修繕が急がれます。合い見積もりを取り、予定が決まり次第、ていねいな説明会を開き、生活環境を改善します。

3. 施設および居宅サービス事業運営方針

令和 7 年度は、複雑化している介護保険報酬体系、介護保険制度の動向を敏速かつ的確に把握し、対応していきます。利用者の皆様の要介護支援区分に対応したサービス体系の細分化、質の向上、ケアマネージャーの補充、職場環境の改善を図ります。

近隣に特別養護老人ホームが新設され、介護老人福祉ホーム、短期入所、通所介護、の稼働率の低下を招いている。新卒採用はないが、新年度は中途採用介護職 3 名栄養士 1 名外国人 3 名入職予定です。

養護老人ホーム福生園は定員 70 名のところ、入所者の高齢化、要介護度の重度化により特養移動、死亡などにより 45 名となっています。DVやホームレス、生活困難による緊急入所が多く、現在も 2 名様は緊急一時入所されています。令和 7 年度も無差別平等に受け入れ、セーフティネットとしての社会的責任を果たしていく所存です。